



蔵之元集落の鬼火焚き

Campaign Lady

キャンペーンレディの
長島魅力発信

Vol.30

長島町のキャンペーンレディ・二階堂美慧^{みさと}さんが町の景色や特産品、知られざる魅力を紹介します。

無病息災を祈って

1月7日、長島町蔵之元集落で鬼火焚きが行われました。昭和50年代から始まった同集落の鬼火焚きは、病魔や悪霊を追い払い、一年間の無病息災を祈る正月の恒例行事となっています。私も小中学生の頃は毎年参加していました。

やぐらには、地元の山々から集めた木材や竹を使用し、その中に各家

庭から持ち込んだ門松やしめ縄などを投げ入れられます。中心には長い竹を1本立て、竹の割れる音が悪霊払いになるそうです。集落によって異なりますが、同集落は年男、年女が手作りのたいまつでやぐらに火を付けます。点火直後、やぐらは激しく燃え上がり、火の粉が天高く飛んでいました。火が弱まると竹の先に餅を刺して

焼き、無病息災を祈りながら食べます。昔は、家で飼っている牛たちを鬼火であぶった笹で撫で、病気や怪我をしないようにしていたそうです。

公民館長の前田益久さんは「2年ぶりに開催できてうれしい。鬼火焚きは、地元の人たちをはじめ、色々な人が集まって話ができるいい機会なので、今後もこの伝統を続

けていきたい」と開催できた喜びを語ってくださいました。今回の取材で、鬼火焚きのさまざまな歴史を知ることができ、今までは当

たり前のように開催されていた行事を見直すきっかけになり、素晴らしい伝統を継承していくことの大切さを感じました。



鬼火焚きについて話す前田館長

海外のある動画
でお金を例にした
授業がありました。
教師がきれいな20ドル紙幣を掲げて「これが欲しい人はいますか」と尋ねると、生徒は全員手を挙げました。しばらくちやにしても欲しいか尋ねると、生徒はまた全員手を挙げます。足で踏んづけてもやはり結果は同じ。「お金に何をしてもみんなが欲しいと思ったのは、価値があることを知っているから。どんな見た目になってもその事実は変わらない。それは人も同じ。どんなにつらい目にあっても、どんなにひどい扱いを受けても、あなたは価値のある存在であり続けるのだ」という内容でした。思わず「いいね」を押ししました。

脇田圭祐

編集後記

【発行】長島町役場
【編集】総務課

🏠 <https://www.town.nagashima.lg.jp/>
✉ info@town.nagashima.lg.jp

役場ホームページから今号までの『広報ながしま』を閲覧できます📄



公式Instagram
@nagashimacho



公式LINE
@長島町



公式Facebook
@nagashimacho

長島町役場 〒899-1498 鹿児島県出水郡長島町鷹巣1875番地1
TEL.0996-86-1111 / FAX.0996-86-0950

指江支所 〒899-1395 鹿児島県出水郡長島町指江787番地
TEL.0996-88-5651 / FAX.0996-88-5198

[No.203]
令和5年

2月号

2023年2月10日金曜日 発行
(毎月第2金曜日発行)



広報
ながしま

NAGASHIMA TOWN
Public Relations

